

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1495100057	事業の開始年月日	平成18年8月1日	
		指定年月日	平成18年8月1日	
法人名	株式会社 ヘルシーサービス			
事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎			
所在地	(212-0053)			
	神奈川県川崎市幸区下平間357-2			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成24年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成25年4月10日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

管理者変更に伴い、管理者はまだ自拠点の把握が全てというわけではないが、職員はお客様と共に不安なく過ごすという根底であります。
 ・内部、外部研修に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りお客様・ご家族様及び職員が安心して過ごせる環境に努めております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成24年11月29日	評価機関 評価決定日	平成25年1月16日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

【事業所の優れている点】

◇地域との交流

夏には毎年納涼祭を行い、地域の方の参加を得て射的やヨーヨー釣り、スイカ割り、昼食バイキングを楽しんでいる。またトランペットやバイオリンによる演奏会が行われたり、ボランティアによるハーモニカ演奏、手品などを定期的に行い、地域の方にポスティングをしてお誘いし、交流の機会を持っている。

◇利用者への支援

利用者の残存した能力をフルに発揮できるように、負担にならない範囲で役割を持ってもらい、利用者のできることを見つけ、生きがいのある生活を送れるように支援している。

【事業所が工夫している点】

管理者の移動があったばかりであるが、職員の連携が良く、職員が意見を言いやすい雰囲気があり、事業所の理念作成、職員の研修、地域への貢献 利用者への支援等での改善に力を入れている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人事異動によりまだ月日が経っていないためまだ不十分ではあるが、早期に実践していきたいと思う。現状は日々の朝礼や情報共有ノートを活用し、月1回の会議及び研修の資料としている。	・社是と事業所の独自の理念を事務所に掲示し、職員は理念の実現に向けて取り組んでいる。 ・朝礼や職員会議で理念について確認しているが、職員に浸透していない部分も見受けられる。	管理者は、事業所の理念を現状にあったものに変えたいと考えています。職員と理念について話し合い、独自の理念を早期に作成し、日々の実践につなげるのが望まれます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状、近隣の方々がお立ち寄り頂くことはあまりございませんが、運営推進会議等を定期的で開催し、地域住民の方々や民生委員にご参加は頂いている。お客様とのお散歩時にはご挨拶等実施している。	・町内会に入会し、交流を深めている。8月には納涼祭を行い地域の方の参加を得、スイカ割り昼食バイキングを楽しんだ。 ・ボランティアによる音楽会、ハーモニカ演奏、手品など定期的に地域の方と交流の機会を持っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施しており、現状報告をさせていただくと共に、ご意見・ご要望においては積極的に取り入れていくようにしております。	・運営推進会議は、併設の小規模多機能事業所と合同で、2カ月ごとに開催している。 ・利用者家族からは、ガーデンコート通信の再開の希望が出され、また、地域との交流の継続の大切さについて、話し合われた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	訪問や電話でのやり取りにて相談及び助言を伺ったりしております。	・鹿島田包括支援センター職員や川崎市幸区の高齢支援課には、日頃から訪問や電話で指導、助言をもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。	・身体拘束排除マニュアルを閲覧できるところに置き、内部研修をでは具体的な事例を持って話し合い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 ・安全に配慮して、玄関は施錠している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修にての研修に参加しております。 ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しておりますので意識して取り組んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、その場でのご意見・ご要望は真摯に受け止め改善・向上しております。 また、組織全体として年に2回、お客様アンケートを実施しております。	・法人本部で利用者、家族に年2回「利用者満足度調査」を行い、改善案を玄関に掲示して運営に反映している。 ・家族からは面会時や電話で、また運営推進会議で意見を聞き、改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の職員会議及び研修の場を取り入れております。 また、3ヶ月に1回の職員面談を実施しております。	・管理者は職員会議や個人面談時、毎日のミーティング時に職員からの意見や提案を聞いている。 ・業務の流れについて、職員から意見が出され、検討して改善を行った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度を導入しております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画作成時に社内研修及び社外研修を設定し、積極的に研修に機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	講習会や研修会には積極的に参加するよう努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初会面談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初会談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々なサービスがある中の1サービスであることはご説明させていただき、お話をお聞きしている際に他のサービスが良い場合にはご相談及びご紹介させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様は人生の大先輩であり尊敬の念をもち、日々のコミュニケーションにより多々学ぶこともございます。職員もお客様には安心をご提供すると共に、共に楽しく過ごすをモットーに日々過ごしていると認識しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画に変更があった際などは、その都度ご家族と連絡をとり支援内容の説明及びご家族様の意見を頂戴し、介護計画書に反映させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話や手紙はもちろんホームへは、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・友人の来訪時には居室をお茶を用意し寛いで談笑できるように支援している。 ・家族と親戚の集まりに出かけたり、外食に出かける利用者もいる。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体的な支援は当然ながら、精神的な支援に重きを置いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様及びご家族様にご迷惑がない程度にはお付き合いはさせていただいております。また、ご利用しなくても遊びに来ていただくようお願いさせていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の朝礼や会議にて職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を徹底するように啓蒙しております。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者からは普段の会話の中から、思いや意向を聴き取り、家族からは面会時、電話の折に希望や意向を聞いている。 ・意思疎通の困難な方からは表情、仕草から本人の意向を推測し、毎朝のミーティングで話し合い心地よく過ごせるように支援している。 	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントを元に、日々のコミュニケーションの中で頂く情報を職員内にて情報共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の朝礼や会議にて情報共有し、また、モニタリングの実施にて管理者やケアマネージャーからの情報提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング及びサービス担当者会議及び職員会議にて実施しております。	・モニタリングは毎月、介護計画の見直しは半年に1回行い、状態に変化があればその都度行っている。 ・担当者、家族、医師、看護師が話し合いケアマネが介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳を保管し日々の日誌を随時ファイリングしており、台帳を基に日々の朝礼や会議にて検討しています。また、見直しが必要な際は介護計画の見直しを実施しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様本位の支援を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	限りある資源を把握し、アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様が安心してお過ごしいただけるようお客様本位の支援を心がけております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関とは関係を密に図り、お客様及びご家族様が安心してお過ごしいただけるように心がけております。	・利用者は提携医療機関を主治医としている。 ・内科医の月2回の往診、歯科は週1回往診がある。協力医以外は家族が対応することが基本だが、困難な場合は職員が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	人記録や日々の状態観察により異常の早期発見・対応を心がけております。 異常時には早急に提携医療機関に相談し、ご家族様にご連絡し適切な医療への受診を啓蒙しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院後にお客様がご安心して支援を受けられるように心がけ、関係医療機関とは情報の共有に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化または終末期になりうる状況の際は、ご家族、主治医と密に連携を図り、援助計画を基に情報を共有している。職員間に関しても情報を共有し、ご家族、主治医、職員間においても統一したケアを徹底している。	・重度化した場合は家族、主治医、看護師とが話し合い、事業所が対応可能な範囲のケアに関係者が協力して取り組んでいる。 家族の協力を得て、看取りを1件行った。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに基づいている。マニュアルは各フロアに設置されておりすぐに閲覧可能となっている。なお、緊急連絡先も添付しておりマニュアルにそった対応ができるよう会議等で確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	会議にて防災説明を行い消火器の位置、避難経路の確認。災害時の動きなどの説明を行っている。また、緊急時の避難場所を設定し日々の散歩コースに取り入れている。また、地区の防災訓練に参加し地域との協力体制を築いている。	・防災マニュアルがあり、会議にて防災説明を行い消火器の位置、避難経路の確認を行った。 ・地域の防災訓練に参加している。 ・地域の協力体制がある。	火災や地震、夜間を想定した防災訓練を年2回行う必要があります。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全体が個人情報保護の契約書を交わしている。お客様の立場にたち、声かけはゆったり優しい口調で話しかけ明るく話しかけるよう心掛けている。	・人生の先輩として敬い、指示語は避け、柔らかい口調で敬語を使って話すなどを徹底している。 ・個人情報の保護方針を遵守し、個人に関する話は人前でしない、排泄の誘導は小声で行うなど、利用者のプライバシーに配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中で、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様の以降にできる限り沿った支援を心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を心がけるよう、日々の申し送りや会議・研修にて啓蒙しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様の思考に沿うよう、お客様本位の支援を心がけております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。	・食材は業者に委託し、職員が調理している。利用者は下ごしらえや下膳、食器洗いなどに参加している。職員は同じものを食べながら見守りや食事介助を行っている。 ・行事の折は利用者の希望の献立にし、誕生会は手作りの食事でお祝いしている。年2～3回外食に出掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様の残存機能を活かしながらの支援を心がけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは必ず実施しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本来の自立支援に基づき、お客様の精神的・身体的状態を心がけながら実施しております。	・排泄チェック表に記録し個々のパターンを把握している。必要な方にはその時々合った声掛けをしトイレに誘導している。トイレでの自然排泄を習慣づけ、排泄の自立に向けた「オムツ廃止運動」に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の日常生活動作や飲食物にも変化をもたらしながら対処させていただいております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現状はまだまだ至らない点もあり、今後はよりお客様のご要望にそう対処を実施していきます。	・原則として週2回の入浴とし、入浴時間や回数はできるだけ希望に沿うよう努めている。 ・身体能力に問題がある方には二人体制でシャワー浴をし、希望があれば足浴も行っている。季節のしょうぶ湯やゆず湯で入浴を楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の生活状態に合わせる、お客様本位の支援を心がけながら実施しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医のアドバイスやご利用者様一人ひとりの服薬について副作用の怖さや、誤薬の防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	事前面談資料やアセスメント及びモニタリングに職員は目を通し、また、日々のコミュニケーションの中でお客様より情報を聞き入れるように空いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気の良い日は事業所の周辺を散歩したり、近くのスーパーへ買い物に出掛けている。 ・ドライブで花見や紅葉見物に出掛け、遠出の機会を楽しんでいる。 ・事業所の玄関先やベランダで外気浴を行い、気分転換を図っている。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてお預かりはしておりますが、自動販売機にて飲料水を購入したり、近隣へお買い物に行くようには努めておりますが、もっと機会を増やしていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご要望があれば支援させていただきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	十分に意識し、出来る限りの配慮をさせていただいておりますがまだまだ至らない点もあるかとは思っております。	・リビングには木目調の家具やソファを置き、利用者の手作りの貼り絵や季節感溢れるクリスマスツリー、リースを飾り、温かい雰囲気演出している。 ・換気や湿度にも気を配り、清潔を保つよう心掛けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時折テーブルの位置を変えたり、ソファにてお過ごしいただいたりしております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際に、馴染みの物を使用し頂くようにご説明し、お持ちより頂いてます。ご入居後もご本人様及びご家族様とはお話をさせていただきながら模様替え等も実施しております。	・居室はエアコンとカーテン、照明が備えられている。 ・利用者は仏壇や自宅で使い慣れたタンス、テレビを持ち込み、家族の写真や習字などの作品を飾っている。掃除は職員と一緒にモップが行っている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	会議等でケース検討し実施しております。		

事業所名	グループホーム ガーデンコート川崎
ユニット名	3階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	人事異動によりまだ月日が経っていないためまだ不十分ではあるが、早期に実践していきたく思う。現状は日々の朝礼や情報共有ノートを活用し、月1回の会議及び研修の資料としている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	現状、近隣の方々がお立ち寄り頂くことはあまりございませんが、運営推進会議等を定期的で開催し、地域住民の方々や民生委員にご参加は頂いている。お客様とのお散歩時にはご挨拶等実施している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回実施しており、現状報告をさせていただくと共に、ご意見・ご要望においては積極的に取り入れていくようにしております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	訪問や電話でのやり取りにて相談及び助言を伺ったりしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	参考資料を基に職員研修やミーティングにて情報の共有を図っており、日々状態観察にて身体や精神面の異変の確認やコミュニケーションによる情報収集は徹底していく方向です。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修にての研修に参加しております。 ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご本人様・ご家族様等関係者の方々が少しでも不安・不満・不快な思いを抱いておりますと安心して生活できない状態だと認識しておりますので意識して取り組んでおります。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、その場でのご意見・ご要望は真摯に受け止め改善・向上しております。 また、組織全体として年に2回、お客様アンケートを実施しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の職員会議及び研修の場を取り入れております。 また、3ヶ月に1回の職員面談を実施しております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度を導入しております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業計画作成時に社内研修及び社外研修を設定し、積極的に研修に機会を設けております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	講習会や研修会には積極的に参加するよう努めております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初会談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お客様・ご家族様が安心してご利用いただける様に初会談等にてご不満やご要望を多く聞き安心していただける様に心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々なサービスがある中の1サービスであることはご説明させていただき、お話を聞きしている際に他のサービスが良い場合にはご相談及びご紹介させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様は人生の大先輩であり尊敬の念をもち、日々のコミュニケーションにより多々学ぶこともございます。職員もお客様には安心をご提供すると共に、共に楽しく過ごすをモットーに日々過ごしていると認識しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	介護計画に変更があった際などは、その都度ご家族と連絡をとり支援内容の説明及びご家族様の意見を頂戴し、介護計画書に反映させていただいております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	電話や手紙はもちろんホームへは、誰でも来訪できるようにしているため、友人の方々等気軽に来訪されています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体的な支援は当然ながら、精神的な支援に重きを置いております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様及びご家族様にご迷惑がない程度にはお付き合いはさせていただいております。また、ご利用しなくても遊びに来ていただくようお願いさせていただいております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の朝礼や会議にて職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を徹底するように啓蒙しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントを元に、日々のコミュニケーションの中で頂く情報を職員内にて情報共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の朝礼や会議にて情報共有し、また、モニタリングの実施にて管理者やケアマネージャーからの情報提供しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング及びサービス担当者会議及び職員会議にて実施しております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳を保管し日々の日誌を随時ファイリングしており、台帳を基に日々の朝礼や会議にて検討しています。また、見直しが必要な際は介護計画の見直しを実施しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様本位の支援を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	限りある資源を把握し、アセスメント及びモニタリングを定期的実施し、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様が安心してお過ごしいただけるようお客様本位の支援を心がけております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関とは関係を密に図り、お客様及びご家族様が安心してお過ごしいただけるように心がけております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	人記録や日々の状態観察により異常の早期発見・対応を心がけております。 異常時には早急に提携医療機関に相談し、ご家族様にご連絡し適切な医療への受診を啓蒙しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	退院後にお客様がご安心して支援を受けられるように心がけ、関係医療機関とは情報の共有に努めております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化または終末期になりうる状況の際は、ご家族、主治医と密に連携を図り、援助計画を基に情報を共有している。職員間に関しても情報を共有し、ご家族、主治医、職員間においても統一したケアを徹底している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルに基づいている。マニュアルは各フロアに設置されておりすぐに閲覧可能となっている。なお、緊急連絡先も添付しておりマニュアルにそった対応ができるよう会議等で確認している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	会議にて防災説明を行い消火器の位置、避難経路の確認。災害時の動きなどの説明を行っている。また、緊急時の避難場所を設定し日々の散歩コースに取り入れている。また、地区の防災訓練に参加し地域との協力体制を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全体が個人情報保護の契約書を交わしている。お客様の立場にたち、声かけはゆったり優しい口調で話しかけ明るく話しかけるよう心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中で、お客様のご意見・ご要望をお聞きし、お客様の以降にできる限り沿った支援を心がけております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を心がけるよう、日々の申し送りや会議・研修にて啓蒙しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お客様の思考に沿うよう、お客様本位の支援を心がけております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お客様の残存機能を活かしながらの支援を心がけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは必ず実施しております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	本来の自立支援に基づき、お客様の精神的・身体的状態を心がけながら実施しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の日常生活動作や飲食物にも変化をもたらしながら対処させていただいております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	現状はまだまだ至らない点もあり、今後はよりお客様のご要望にそう対処を実施していきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様の生活状態に合わせる、お客様本位の支援を心がけながら実施しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医のアドバイスやご利用者様一人ひとりの服薬について副作用の怖さや、誤薬の防止に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	事前面談資料やアセスメント及びモニタリングに職員は目を通し、また、日々のコミュニケーションの中でお客様より情報を聞き入れるように空いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	まだまだ至っておりません。職員会議や研修を活かして積極的に取り入れるようにしていきます。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてお預かりはしておりますが、自動販売機にて飲料水を購入したり、近隣へお買い物に行くようには努めておりますが、もっと機会を増やしていきたいと思っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご要望があれば支援させていただきます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	十分に意識し、出来る限りの配慮をさせていただいておりますがまだまだ至らない点もあるかと思っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時折テーブルの位置を変えたり、ソファにてお過ごしいただいております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際に、馴染みの物を使用して頂けるようにご説明し、お持ちより頂いてます。ご入居後もご本人様及びご家族様とはお話をさせていただきながら模様替え等も実施しております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	会議等でケース検討し実施しております。		

目標達成計画

事業所名 グループホーム
ガーデンコート川崎

作成日 平成25年1月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	施設理念の文面が長く、職員は覚えきれない。	短く簡潔でわかりやすい文面に差し替える。	短く簡潔でわかりやすい文面に差し替え、職員全員が理解し共に目標に向けて一丸となって連携していく。	平成25年2月末
2	13	火災や地震、夜間を想定した避難訓練を年2回実施する。	現状まだ1回の開催で、平成25年3月に実施予定。	毎年最低年2回は必ず実施し、発生した際には職員全員が落ち着いて対処できるようにしていく。	平成25年3月末
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。